

— 水と環境 2011-1-13 フィードバック —

1. バングラディッシュの現状

ビデオを見た世界の状況は、鳥肌がたつほど悲惨なものだった。

ビデオの病院で水道の蛇口にフィルター代わりに張られていたがせに虫や汚れがついていた映像は衝撃的でした。病院という環境だけに信じられませんでした。

途上国などで水道設備が整っていないと水不足が深刻なことは知っていましたが、しかし日本の現場においてきれいな水が使えない現状におどろきました。非常に危機感を覚えました。

2. 日本ポリグルの活動について

また、ビデオについて、最初はおどろきました。最終に衛生があげられていたとあり、果たして「安全」で、「正しい」のかということを感じました。援助が自他心をなくしてリスクがあるのは弊一にあるし、ビジネスの問題点でもあると考えました。

貧しくてきれいな水を使えない人々のために浄化剤をつくっている彼らの姿に感動しました。でも、それをビジネスにするのはどうなのかな...と思いました。

ということです。そのような状況下では、いわゆるBOPビジネスでなければ途上国の状況は改善できないし、日本ポリグルの現在の活動が、現在のバングラディッシュの状況を改善するには最もいいように思います。

水ビジネスは、おどろ意味が、口をうけのような気がします。発展途上国の水事情が知られてよかったです。

世界にはまだ安全な水を使用出来ない所がたくさんあるので、いかにたくさんの人に安全な水を使用できるかがこれからの課題だなと思った。

ポリグルの人たちは化学の力で99%の人々を救う、というおどろしいと思います。

比較的小さな会社で、大企業に比べると将来の不安定要素があるかもしれませんが、しかし、個人的には大企業よりも大きな魅力を持った会社だと思っています。また、このような会社が育つかどうか、未来を考える時の鍵だと思っています。

苦しい国を助けに行くということはおどろしく思いました。私自身もこういうことを将来にしたいです。

日本は世界の中でも本当に水がきれいで安心できると改めて感じた。

科学と環境問題を切りかわせて考えていかないとはいけません。

このような現状であることは、ある程度よく知られたことです。そこが議論のスタートなので、情報のアンテナを張って、現状認識を深めるようにしてください。特に本学はそのような情報が入りやすいです。

そして、なぜそうなのか、どうして抜け出せないのか、そうした情報も集めてみましょう。

国際協力自身について、私は専門家ではありません。他の講義でもお話しているのですが、知っている人もいるかもしれませんが、よく知らないで判断することは危険な事です。

しかし、現状で私が思っているのは、先進国が途上国の悲惨な状況を作っている重要な原因であり、一方で、先進国の国民にはそのような認識は無い、

まず、日本ポリグルのバングラディッシュでの事業はポロモウケということはあり得ない規模だと思っています。逆に、ポロモウケの事業があったとしたら、それは多くの人に求められている仕事だということです。

この大学の学生のみなさんの活動や講義での反応を見ると、私は個人的に世界の将来は明るいと思っています。きっとみなさんの世代で多くの問題が解決の方向に向かうのではないかと、そんな風に思っています。

3. その他の外国事情

オーストラリアにホームステイに行った時、水がとても貴重という話を聞いていたので、どんなもんかと思っていたのですが、海じりだったです。友達のスライ先ではお風呂の前でストップウォッチを持たれ(時間は2分)時間が過ぎるとドアを叩かれると言っていました。私の家でも、雨水を飲料水に変える装置が備え付けられていました。水はとても貴重なんだと体感した瞬間でした。

オーストラリアの雨の話もそうなのですが、鉄砲水なども予想できたりするのでしょうか？

度の予想はできます。しかし、空振りが多いと「オオカミ少年」のように予報を信じてもらえないし、また、住民や現場にいる人にどのように伝えるか、は、大きな課題です。

4. 淡水化

海水から淡水化にする方法で 3つ挙げ、ていたが、結局総合的にどれが一番いいかわかりませんでした。

水を海水にするのにも色々な方法があるのはおもしろいけど、どれもコスト面の問題があり、また海水を飲み水として使うのは難しいのかなと感じた。

海水の淡水化方法で、蒸発管方法は地熱等ではできないのでしょうか？

キラリアの様な活火山の付近で、強力な地熱を利用する

共、電気を使って淡水化ができればいいでしょうか？ その他、安全管理のハードルが一気に上昇するが、原子力発電所とセットで構築する

おもしろいので、調べてみてね！って感じの質問をします。

5. 浸透圧

お風呂に入ると指がふやけると言っていました。海に入るとどうなるのでしょうか？

バングラディッシュの少女が「池の水が悪い」と気づくのに時間がかかったように、その土地土地の風習が、その地域の人々の常識を作っています。逆に、日本の常識は世界の非常識であるのだとわかるエピソードですね。

いい質問だと思います。まず、降水に関しては、日本については、かなりの精度で短期的な予想はつくようになってきました。また、土砂災害の危険な地域はあらかじめわかっています。そのような意味で、ある程度

もしも、海水の淡水化に決定打があれば、雨よりも安定した供給源ですから、みんな使っているでしょう。現状、一長一短です。あまり結論を急がず、むしろ、原理的な事を理解して、新たなアイデアを生み出すような方向で考えてもらえたらいいと思います。例えば、書いてくれたような地熱を利用したらどうか、は、グッドですね。

一般に、海水の方が浸透圧が高いので、体の水分は徐々に抜けていきます。海中生物は、常に脱水症状になる可能性の中で、分子レベルのいくつかの機能でこの危機を乗り越えています。

今日の予定

1. 復習： 今が最も身につく時かも…
2. 期末試験： 授業時間終了15分前から退出してかまいません。
3. 授業評価アンケート： 記入したら中央列最後部に裏返して置いていって下さい。中央列で最後まで試験を受けた人の一番後ろの人は教務課に持って行ってください。宜しくお願いします。
4. リアクションペーパー： 見学会の参加の可否・講義全般についての感想などを知らせて下さい。見学会のことを忘れずに。(補講！)